

# ときがわ通信

東松山自然倶楽部

2018・4

## 定例観察会実施報告

### 2月定例 「市民の森～冬」

とき 2月17日(土) 晴れ

ところ 東松山市民の森

リーダー 渡部栄一 参加者27名

**観察項目** 今日のテーマは樹皮。樹皮とは？と聞かれたら木の皮としか答えられない素人の私。あっ、でも少しは分かることもあるかなあ～例えばリョウブは斑模様でツル、アカシデは縦に筋があったかな、ソメイヨシノは横にシュ、シュ。(こんなところでご容赦を)そんな素人にリーダーが3種類の樹



木のサンプルを持参して説明をしてくれた。流石森林インストラクターは違うね！それを手に取ったりして見比べた。樹皮もだけど年輪って綺麗だなあ～、手触りもいいなあ～。その後は森に入って実際に樹皮を見て歩いたのでした。今日の一番の驚きは下のサンプル。中心から出ている一本の杭の様な物は何？えええ～、枝が伸びた痕だって。

脳幹みたい！Oh No！



### 3月定例 「水辺と湖畔林の鳥」

とき 3月17日(土) 晴れ

ところ 滑川沿い

リーダー 金子恒雄 参加者34名

**観察項目** 受付の片付けをしているとリーダーが何か話している。何々...「鳥の嘴はどうなっている？」ああ～くちばしかあ～長い、短い、太い、細いなど色々な形ねえ～。ヒヨドリはまっすぐで細く、木の実丸飲み。シメは太くて短いペンチ型の嘴を使って木の実をパッチンとつぶして食べる。カワセミは長くて尖った嘴だから、魚を突き刺して捕まえる！って、すごい！さすがカワセミ、カッコイイ！え？そうなの？その魚突き刺したままで食べられるの？そんなジョークを交えての説明はさすが。さて川沿いを歩きながら春の暖かさを感じる幸せ。アオジ・カシラダカ・ツグミなどそろそろ冬鳥は北に帰って行くのかと見送っていると「ホーホケキョ」とウグイスが囀った。冬から春へバトンタッチをし



ているようです。西明寺沼で見ているのはホシハジロにキンクロハジロ・カイツブリ・コガモ・マガモなど。でも参加者が注目しているのは、高速で水面を飛んでいるツバメの集団。はい、完全にバトンタッチして春になりましたよ。私の大好きな春眠暁を覚えずの春です。本日34種類確認。

### 定例会案内

\* 4月21日(土) 春の河川敷

集合：都幾川リバーサイド駐車場

\* 5月19日(土) 市民の森～春

集合：東松山市物見山駐車場